

グループホーム「櫻」第19回運営推進会議議事録

日時 平成23年3月29日(火) 14:00～15:00
場所 グループホーム「櫻」 1F 食堂
出席者 運営推進会議委員
逗子市福祉部 介護保険課長 舘 兼 好
葉桜自治会 副会長 杉 浦 強 司
社協：地域包括支援センター管理者 渡 邊 誓 子
ご家族代表 今 井 美智子(新)
(委員5名 4出席)
医療法人社団柏信会 理事長 角 野 禎 子
総看護部長 岩 木 和 子
グループホーム「櫻」 管理者 菅 谷 弘 子
事務長 遠 藤 勝 三

会 議 概 要

1. 開会の辞

定刻、管理者は各委員に年度末、繁忙時期の出席を謝し本委員会の開催を宣し、新委員の紹介を行なう。

逗子市民生委員 秋山 氏の後任に栃本文江 殿(本日欠席)

ご家族代表 原 氏の後任に今井美智子 殿

(今井委員の自己紹介後、順次各委員も自己紹介を行なう。)

新委員等の自己紹介後、管理者は理事長に挨拶を要請した。

理事長挨拶要旨

「地震など心配事の多い昨今、法人としては特にこの度の地震による被害も無く、停電による影響も少なかったが、災害等があると常に弱者が盾になってしまう。これら災害の経験を踏まえ施設としての完結を目指したい。」

理事長挨拶終了後、議事の進行及び報告等を事務長に指示。

事務長は配布資料を確認した後、会議次第に基づき報告説明を行なう。

2. 議題

(I) 報告事項

運営状況(現況)等について

ア 入居者の現況及び活動状況について(資料)

別紙資料により概要を報告、以下について補足する。

第18回運営推進会議の報告時よりご利用者様3名（入院2名、他施設1名）が退居され、3名の方が入居（在宅2名、病院1名）されました。

したがって、要介護度1が2名増の3名、要介護度2が2名増の3名、要介護度3が4名減の5名となり、平均年齢は0.84加齢され86.78歳となった。

イ 自己評価及び外部評価について（資料）

平成23年1月21日実施された、外部評価訪問調査結果を資料に基づき概要を報告。

評価機関記入事項を朗読、実施事項については自己評価と外部評価の比較要領等を説明し、持ち帰り一読して頂き細部は割愛する。

ウ 平成22年度地域密着型サービス事業所の実地指導について（資料）

資料（通知文書写し）により指導事項の概要を報告、結果については正式文書（23逗0504発第810001号：23.3.22）の内容を読み上げ報告とした。

「平成23年2月15日に実施いたしました、標記実地指導の結果、貴事業所の運営について、特段に不適切なものは認められませんでした。今後とも適切な介護保険事業の運営を宜しくお願い申し上げます。」

なお、実施当日に口頭指導された、業所の指定通知、苦情相談先、料金表等の施設内掲示については、速掲示に努めたことを補足。

エ 平成23年春季火災予防運動の実施について（資料）

標記全国的運動期間中を利用し年度計画に基づく訓練を実施。

毎回独自で行なっている消防訓練や避難誘導訓練等に変えて、逗子市消防職員の派遣を依頼し、火災予防の基本的事項の講義を受けた。特に火災自動装置の実演を披露して頂き、職員の火災に対する意識の高揚を図った。

参加人員：逗子市消防職員2名 「櫻」職員17名

(II) その他

報告終了後は懇談会形式で意見交換を行なった。（細部割愛）

懇談は東日本大震災の話題に終始した。主な内容については以下の通りであった。

: 地震発生時における「櫻」の行動等について
: 施設の被害等について
: 停電時の対処要領及び非常食等について
: 行政における各福祉施設の状況把握について
: 町内会における組織的対応等について
「櫻」も含め防災に関する地域の状況等で有意義な懇談となった。

1 閉会の辞

議案等の終了を見届け予定時刻前ではあったが、管理者は各委員に対し次回の開催を確認（23年6月28日 火曜日）すると共に、本日の出席を謝し閉会を宣した。